

吉丸 克彦議員

白糸地獄谷残土
搬入埋め立てについて

問 林地開発に関する許可、不許可の決定権は県にあるが、市町村に強い裁量権を持たせるように森林法を改正するため、県と連携して国に意見書を提出してはどうか。

答 法令の改正に関するものであるが、まずは林地開発の許可権者である福岡県と相談をしたいと考えている。

糸島の景観について

問 景観は市民の財産であり、市はそれを守るべきと思うが、どう考えるか。

答 都市と自然の共生を進め、まちの魅力を高めていくために、開発と保全のバランスを取っていくことが必要である。

問 糸島市として将来、景観条例を制定することを考えているか。

答 景観行政と関係が深い都市計画マスタープランは総合計画に沿って策定する。これらが景観の在り方の基礎となり、その策定過程の中で、景観に関する考え方が反映されると考える。

問 ここは田園風景、ここは歴史的景観といったように、地区ごとに色分けして景観を残すことはできないか。

答 景観条例を定める際は、さまざま

な検討すべき材料があり、今後引き続き検討していく。可能な限り、自然が守られるような行政を心掛けていきたい。

観光について

問 市長はマニフェストで「観光入込客数年間500万人を目指す」としているが、どのような根拠があつての考えか。

答 糸島産の食材を生かしたグルメ観光や体験型観光、遺跡などを巡る文化観光など観光資源を組み合わせ、今までになかった新たな体験、発見の楽しさを提供することにより可能と考えている。

問 糸島市となつて、どのようなグリーンツーリズムを展開しているか。

答 ファームパーク伊都国を拠点として漁協、ボランティアグループ等の各種団体と連携を図り、グリーンツーリズムの推進を図っていきたい。

問 観光ボランティアガイドの育成、人材の必要性を感じるが、どのように考えるか。

答 観光客に満足していただくには、おもてなしをする人材が重要と認識しており、ボランティアガイドの育成、接遇研修については観光基本計画を策定するので、その中で施策を講じたい。

波多江 一正議員

白糸地獄谷
残土処分場について

問 林道使用許可申請を不許可にしたが、今後の取り組みについて伺う。

答 申請者は、林道使用が不許可の場合、訴訟も辞さないと言われている。そのようになれば、市は訴訟が終結するまで対応する。市民のみなさまのご理解と議会のバックアップが必要である。

市立図書館について

問 市立図書館と学校図書館の役割についてどのように考えるか。

答 市立図書館は、市民の教育と文化の発展に寄与すること、学校図書館は、図書、視覚教育の資料等必要な資料を収集し、学校の教育課程の展開に寄与すると共に、子どもたちの健全育成を目的、役割としている。

移動図書館

問 移動図書館や庁舎活用など、糸島市全域での図書サービスについて考えを伺う。

答 平成22年度は、移動図書館



子どもたちにも愛される図書館をめざして

学校図書館の充実について

問 学校図書館の図書の購入方法が、旧1市2町で異なっていたようだが、糸島市ではどういう方法で行うか。

答 校長会から学校の事務量が多少増えても数回に分けて購入したほうがよいとの意見があり、現在、学校と教育委員会とで協議、検討中である。

運転困難者に対する
対策について

問 タクシー代を補助している自治体があるが、検討の余地は無いのか。

答 補助対象者や補助対象地域の特定が困難である。最寄り駅等への事前予約制乗合自動車は、地域交通計画策定の中で検討する余地はある。

笹栗 純夫議員

市長マニフェストの「夢」を
「かたち」にするための提言

問 自然災害、特に集中豪雨対策に対して、旧前原市の一部地域では、平成21年度末に報告書がまとめられるが、それを受けて何を行うか。

答 調査報告書に基づき、具体的な整備方法の決定や概算事業費を算出し、その結果を踏まえて県や国と協議を行い、できるだけ早い時期に整備に取りかかりたい。

問 例えば、プレミアム付き商品券、景勝地の定点カメラの導入など、ふるさと応援寄附条例のメニューの見直しを求める。

答 プレミアム付き商品券発行については、実施に向けて検討したい。定点カメラの設置については、ホームページでの動画による情報提供に向けた調査、研究を行ってきたい。

問 新市「糸島市」誕生を、どのようなイベントでお祝いする意向か。「過性のものではなく、市民からの盛り上がりはどう醸成するか。



「記念式典」と「異

答 NHK「のど自慢」公開放送、プロ野球・名球会の「ドリームベースボール」、そして、九州大学の協力を得て行う「記念式典」と「異

市長のマニフェストについて

問 障がい者雇用コーディネーターについて記載があるが、障がい者雇用支援についての基本的な考えを伺う。

答 まずは、雇用の場を確保すること、それから、障がい者が、職業を通じて誇りを持つて自立した生活が送れるように、個々の状況に合わせた支援を進めることである。

問 就職を希望している障がい者は、どのような雇用を望んでいるか。また、その希望に対して、どのような支援策を行ってきたか。

答 希望の多くは、自宅で働くこと、正規雇用、変化が少ない業種。就労希望者は障がい者就業・生活支援センターに登録していただき、就業面と生活面の支援を行う。平成19年4月から21年度までに、登録56人中20人が就職された。

問 雇用支援として、公共施設での職場実習をしてはどうか。

答 実習を希望される障がい者の方について、能力および適性などを考え、市役所等での社会活動ができるかどうか、今後、可能性について研究していく。

問 将来の糸島市を担う子どもたちの快適な教育環境についての考えを伺う。

答 将来を担う子どもたちが安全で

都ジャズフェスティバル」を予定している。新市誕生を祝うと共に、新市の一体感をつくりだしたいと考えている。

糸島市内全域で以下の事業を
推進、普及できないか伺う

問 オストメイト対応の多目的トイレの拡大について伺う。

答 現在、オストメイト対応の多目的トイレは糸島市内の公共施設と民間施設の17か所に設置されており、今後も計画的に設置する取り組みを進めていきたい。

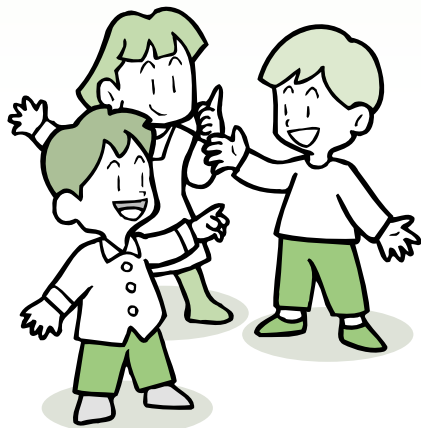
問 難聴者・中途失聴者支援対策の強化で、公共施設へ「耳マーク」「筆談用の携帯用ホワイトボード」の設置の推進ができないか。

答 いずれも平成19年度に旧前原市において各窓口を設置している。破損している耳マークは早急に取り換える。二丈支所と志摩支所の窓口にも設置し、他の公共施設への設置についても検討したい。

問 市長公約である「赤ちゃんの駅」事業拡大をどのように推進するか。

答 二丈志摩地区に拡大し、合計34施設となる。民間施設の協力が重要で、市ホームページ等での再募集や市商工会への働きかけを行っていく。また、子育て中の保護者に場所利用方法の周知を図っていく。

江頭 晶子議員



安心して学校生活を送り、確かな学力を高め、豊かな心や健やかな体をはぐくむため、重要と考える。

問 マニフェストに「小中学校を計画的にリニューアル」とあるが、具体的な計画があるのか。

答 具体的な計画はないが、小中学校合わせて290か所等の要望が上がつており、緊急性、危険性を考え、順次計画的に整備を行っていく。

問 旧二丈町、旧志摩町に比べて旧前原市では、国の交付税に対する特別支援教育費の割合が少ない。公平な扱いをしていただきたい。

答 学校長が各学級の状況を把握し要望をあげている。教育委員会も直接学校へ行って、必要性等を確認しながら、支援員の配置を行っている。